

JRA-VAN 競馬ソフト作成体験教室

・開発環境を整備する

当コーナーでは、「JRA-VAN Data Lab.」サービス対応の競馬ソフトを作成していくための環境設定を解説していきます。

ここでは、「JV-Link」を Microsoft Visual C++ 2019 Professional(以下 VC++ 2019 と省略)で使えるように環境設定を行ないます。

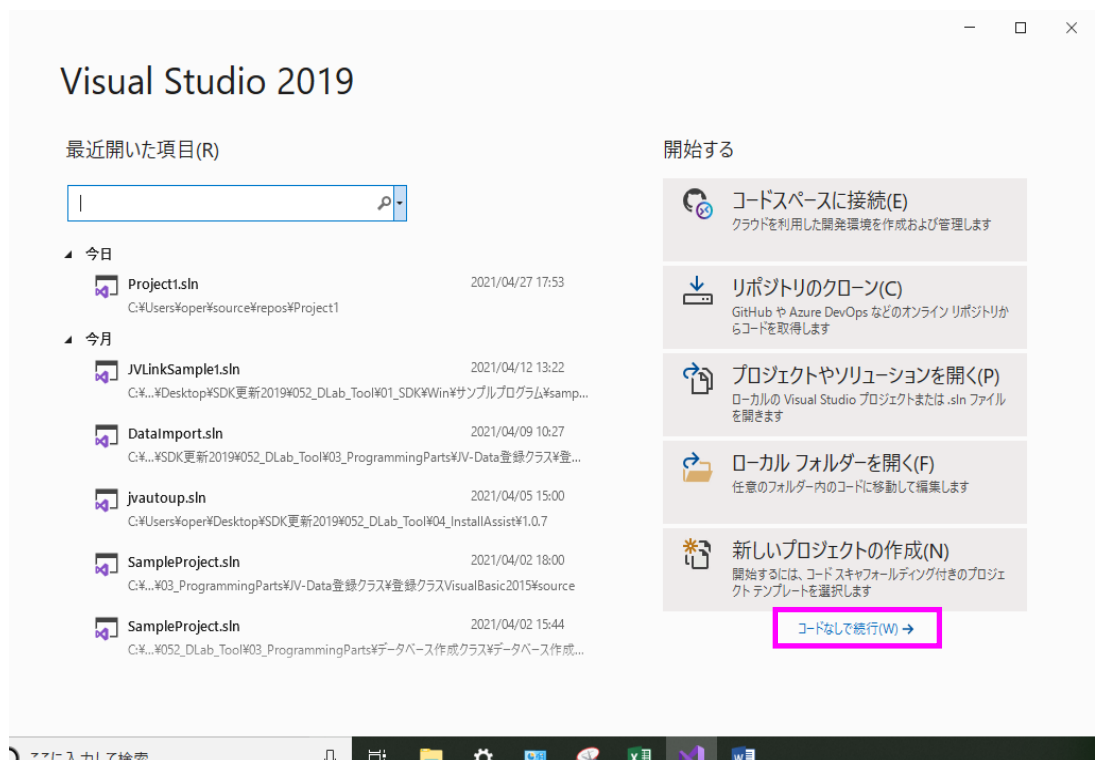
【 今回の目標 】

プロジェクトで JV-Link を使用できるように設定する。

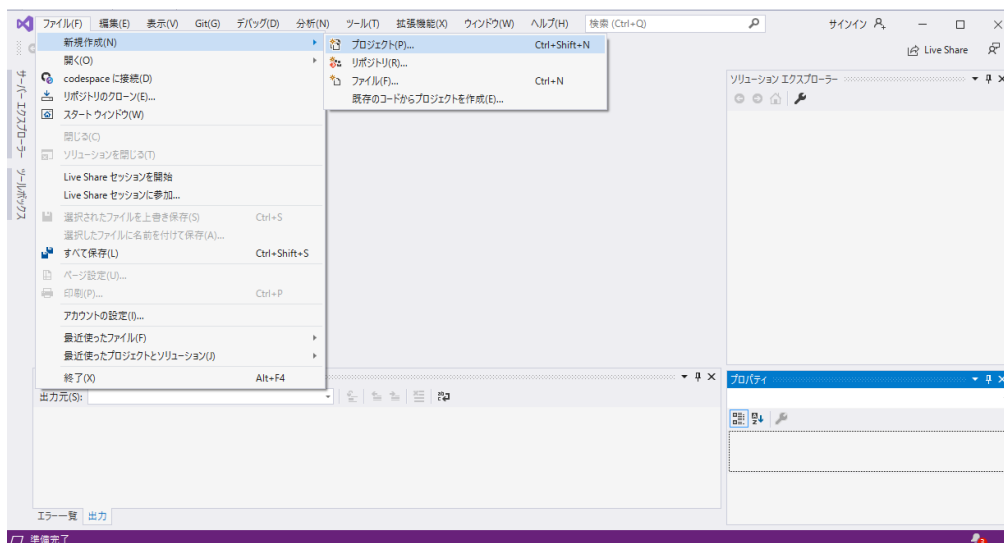
【 やってみよう 】

JV-Link をコントロールに追加しよう

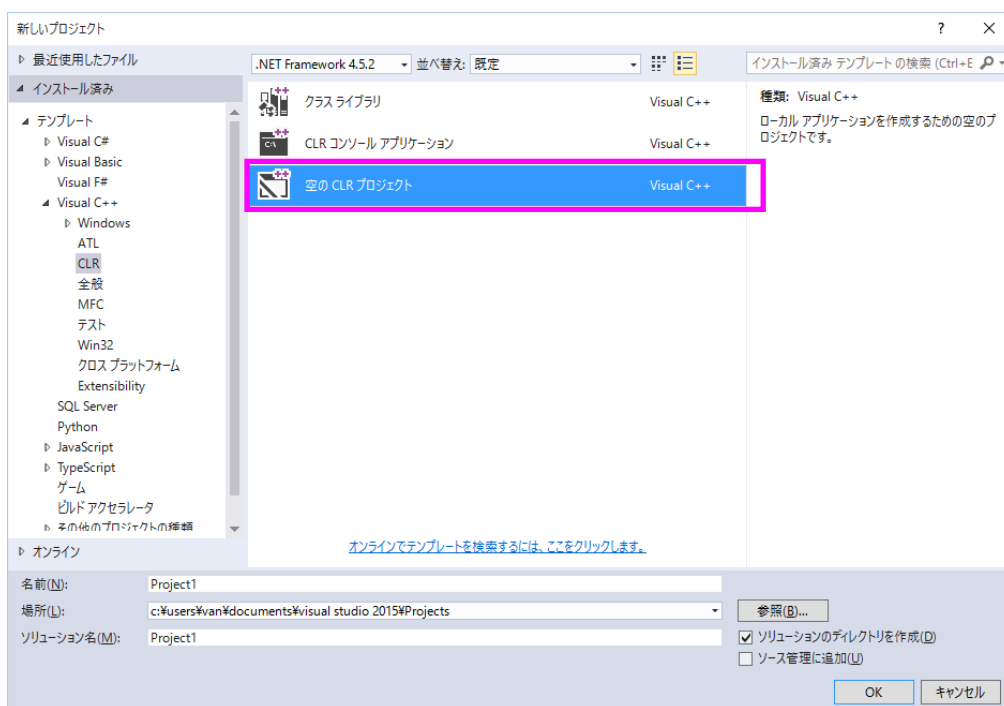
- ① VC++ 2019 を起動し、「コードなしで続行 (W)」リンクをクリックする。



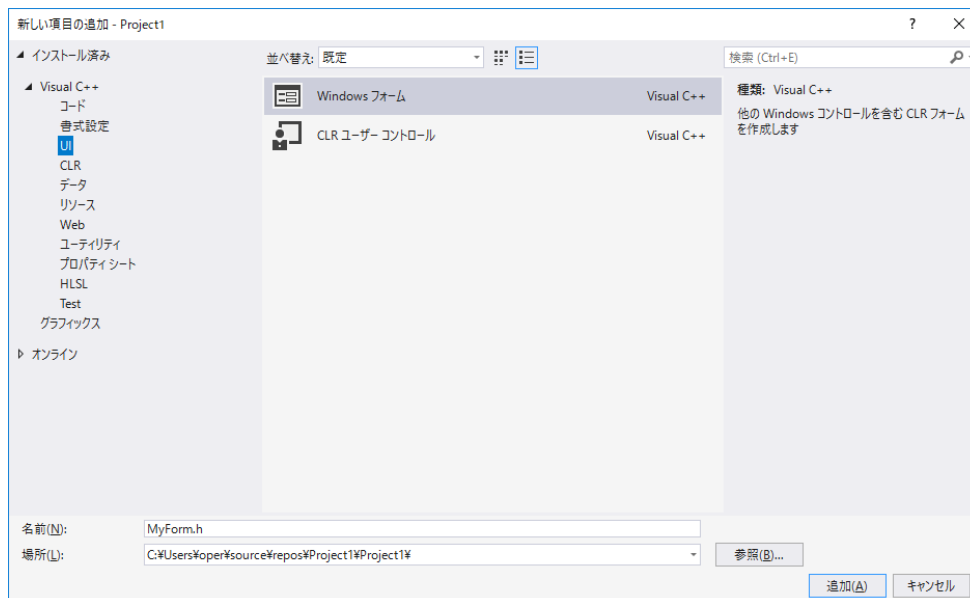
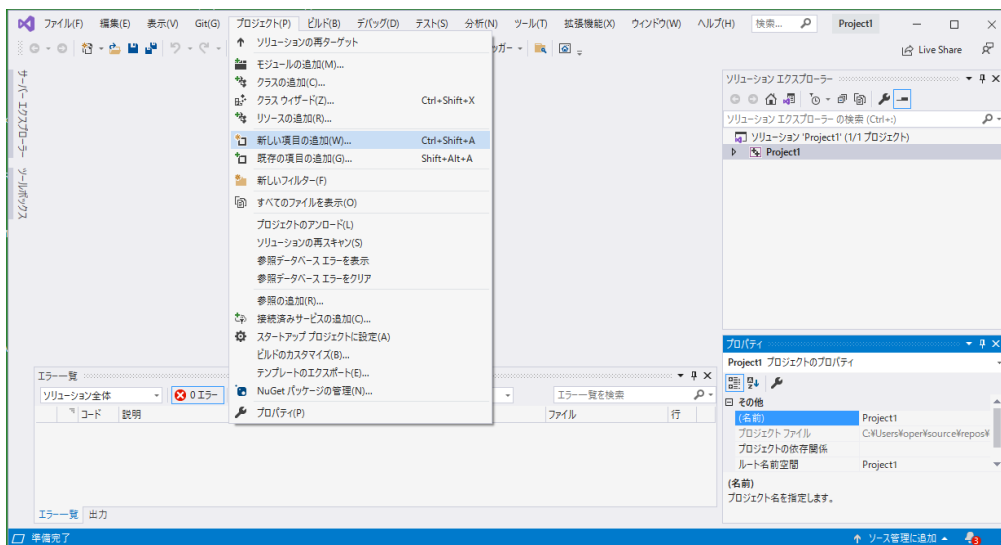
メニューバーの「ファイル」→「新規作成」→「プロジェクト」を選択します。



- ② テンプレートで「空の CLR プロジェクト」を選択し、名前とソリューション名に適切な名前を入力して「OK」ボタンをクリックする。

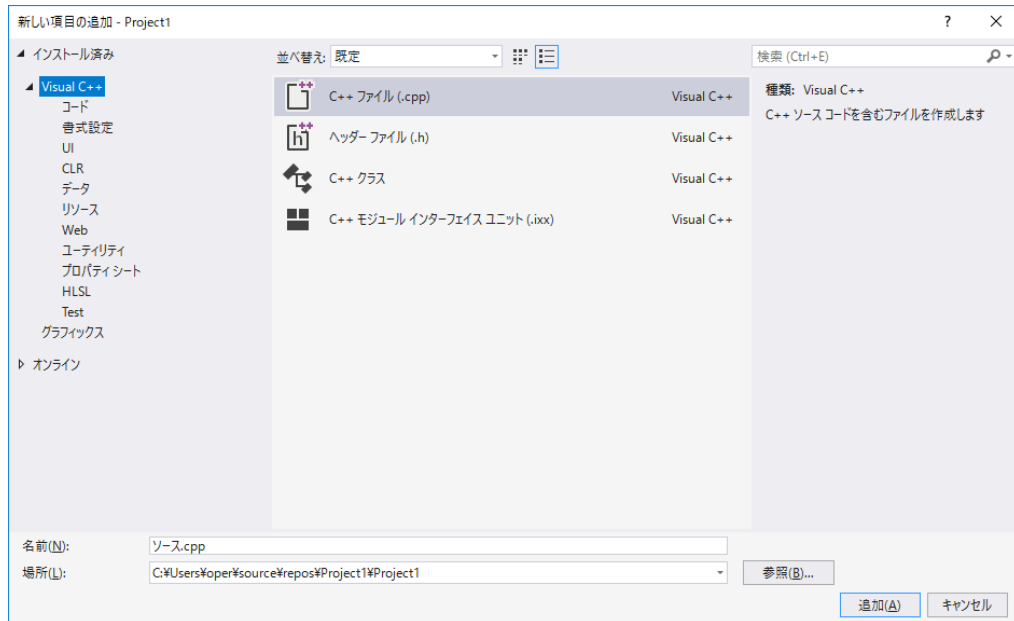


- ③ メニューバーのプロジェクト(P)-新しい項目の追加(W)を選択して、**VisualC++-UI-Windows** フォームを選択し名前に適当な名前を入力して「OK」ボタンをクリックする。



※フォーム追加によってエラー画面が表示されることがありますが、ここでは無視して次の手順に進んでください。

- ④ ③同様にメニューバーのプロジェクト(P)-新しい項目の追加(W)を選択して、**VisualC++-C++ファイル(.cpp)**を選択し名前に適当な名前を入力して「OK」ボタンをクリックする。



- ⑤ 新しいソースが下のように表示されます。表示されたエディタに以下コードを記載してください。

```
#include "MyForm.h" // Form名.h

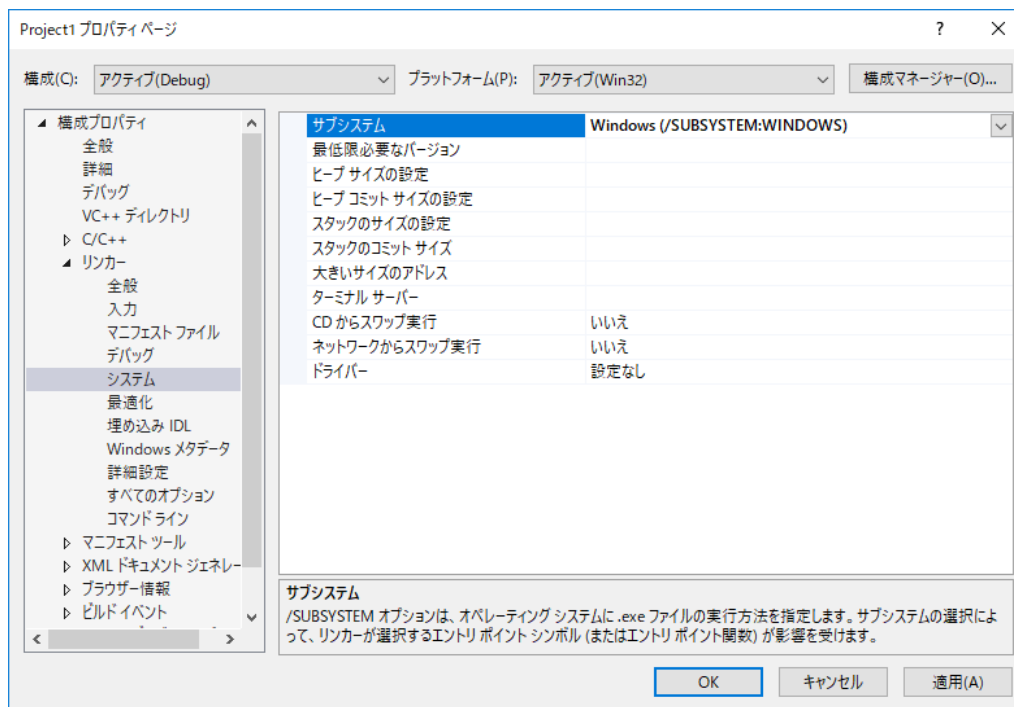
using namespace System;
using namespace System::Windows::Forms;

[STAThreadAttribute]
int main(array<String^>^ args) {
    Application::EnableVisualStyles();
    Application::SetCompatibleTextRenderingDefault(false);
    // gcnw プロジェクト名::Form名()
    Application::Run(gcnw Project1::MyForm());
    return 0;
}
```

- ⑥ ③同様にメニューバーのプロジェクト(P)-プロパティ(P)を選択して、プロパティページを以下のとおり編集します。

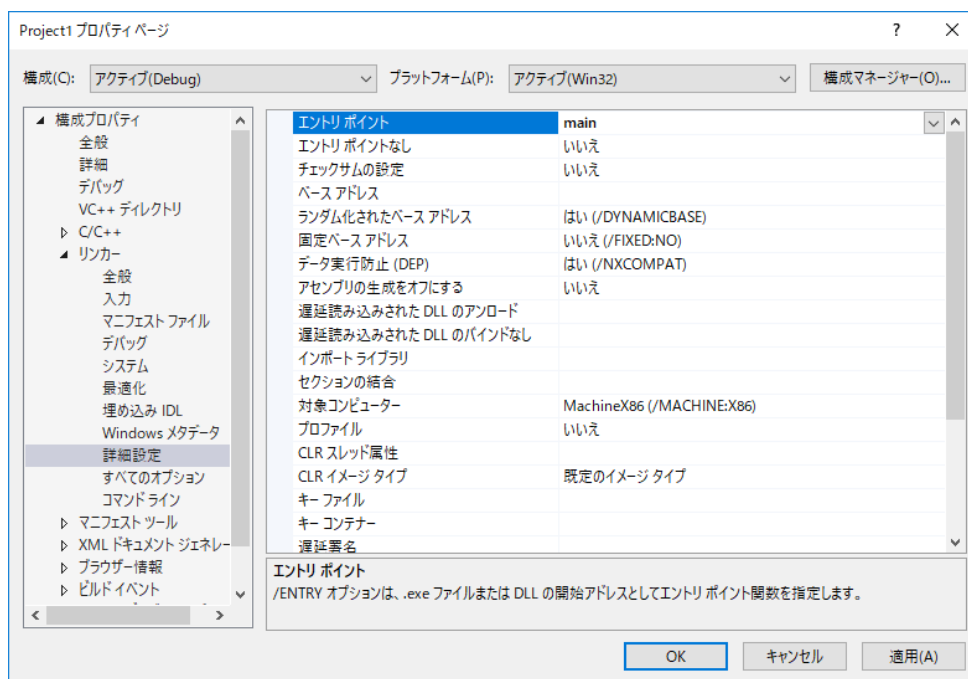
- ・構成プロパティ-リンカー-システム-サブシステム

Windows (/SUBSYSTEM:WINDOWS)

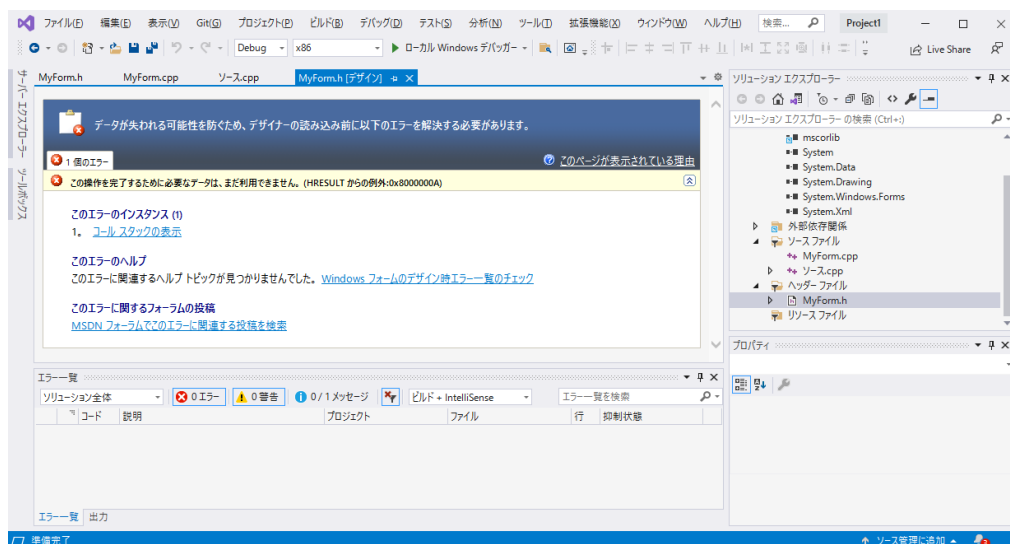


- ・構成プロパティ-リンカー-システム-エントリーポイント

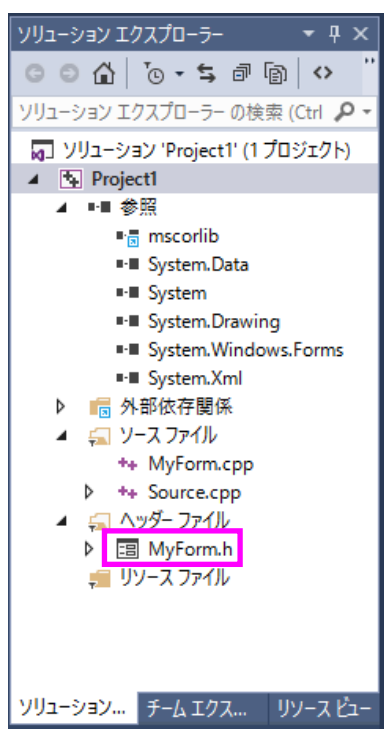
Main

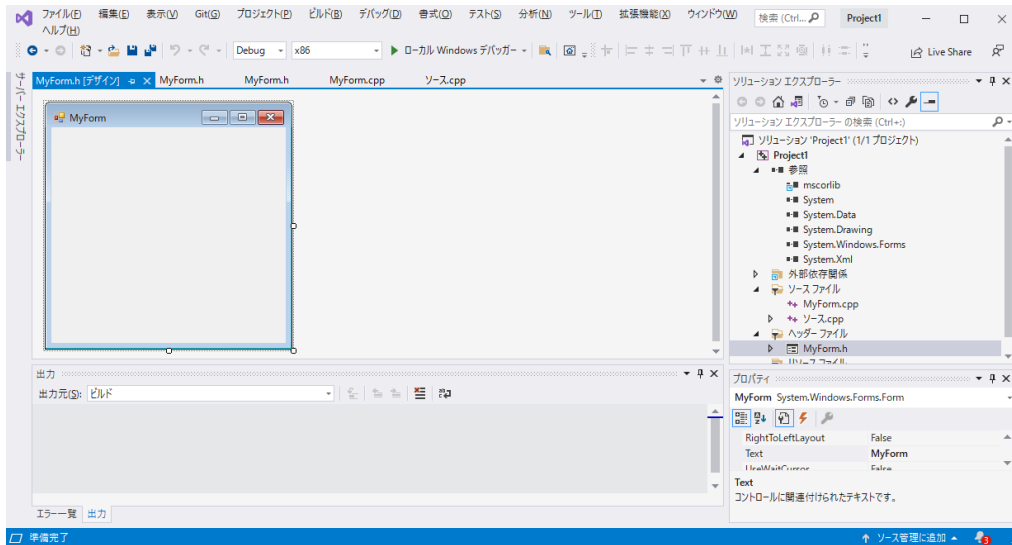


- ⑦ ③で追加したフォームを開き、エラーとなっている場合は「×」をクリックして画面を閉じます。

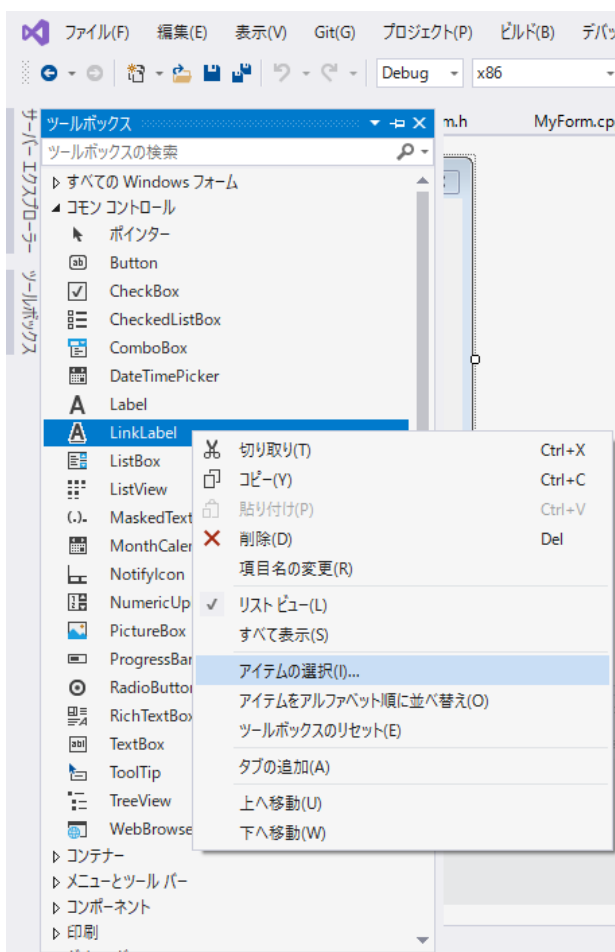


ソリューションエクスプローラーより、同フォームをダブルクリックして画面を開きなおします。フォームデザインが正しく表示されます。

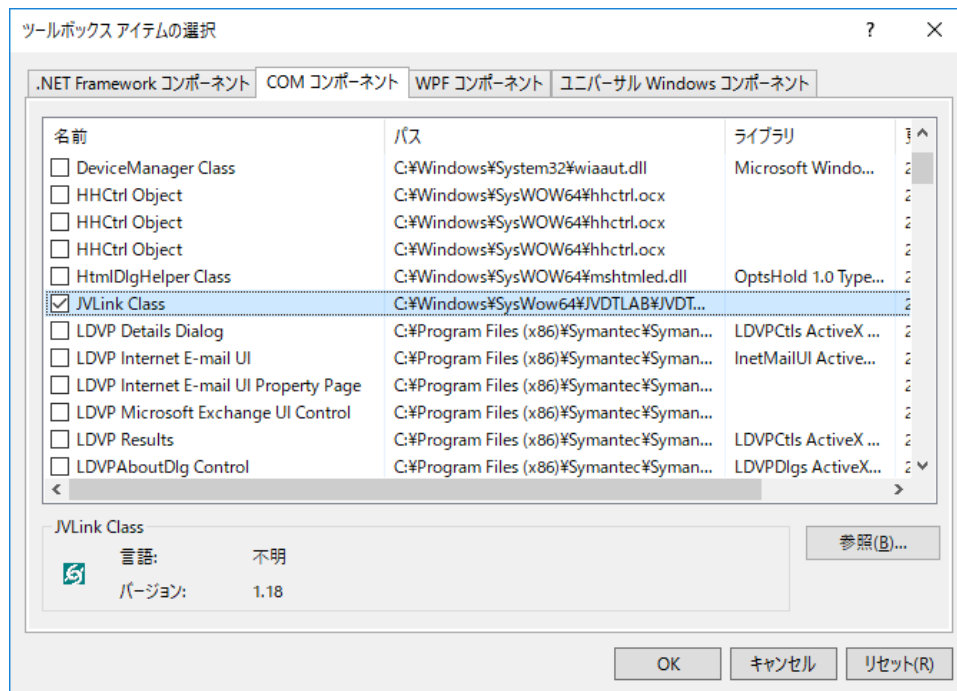




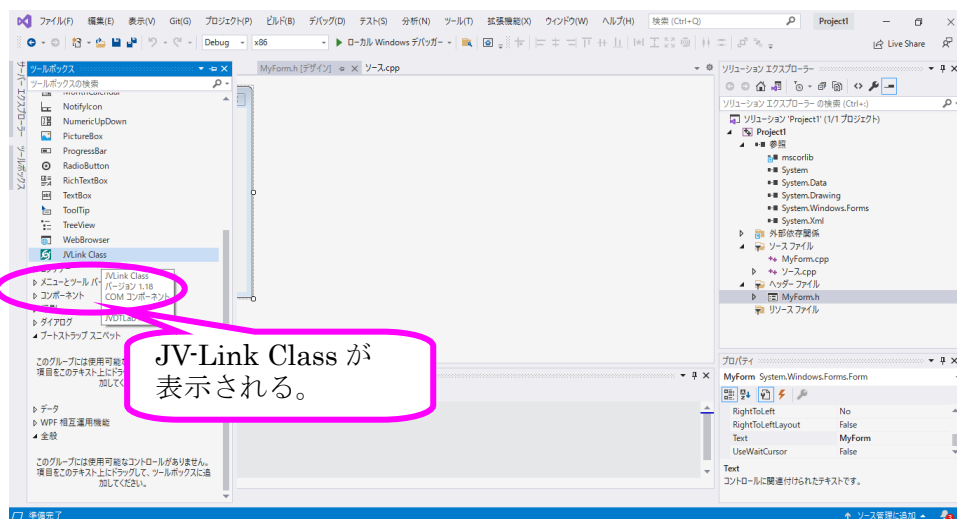
- ⑧ ツールボックスのコンテナ上で右クリックしてポップアップメニューを表示し、「アイテムの選択」を選択します。



- ⑨ COM コンポーネントページの「JVLink Class」にチェックを入れて「OK」をクリックする。



- ⑩ コンポーネントの中に、JVLink Class が表示されたことを確認する。

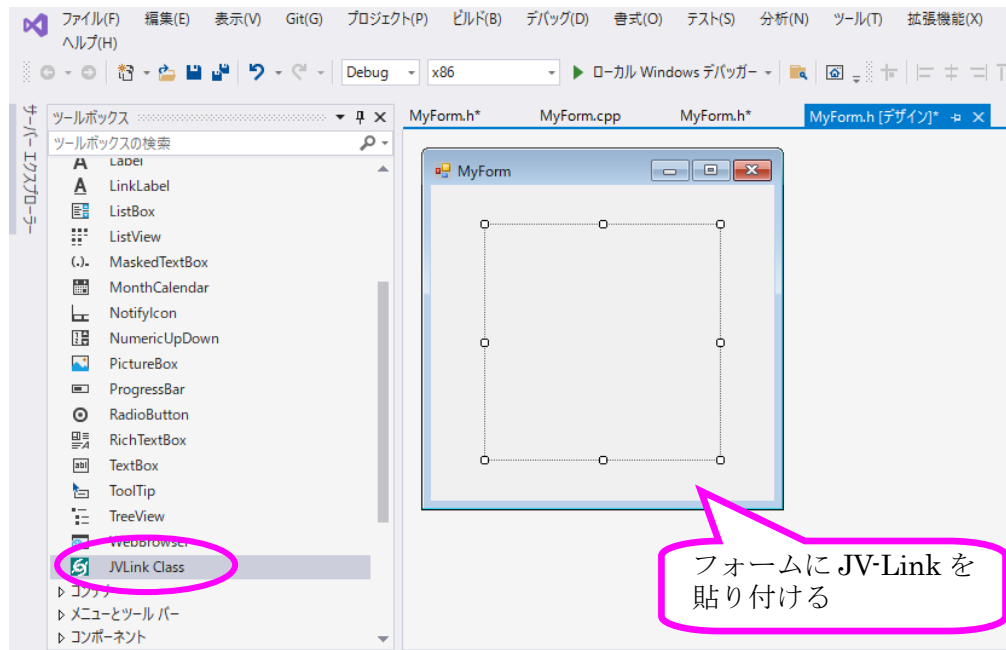


【 確認しよう 】

フォームに **JV-Link** を貼り付けることができれば、今回の目標は達成です。

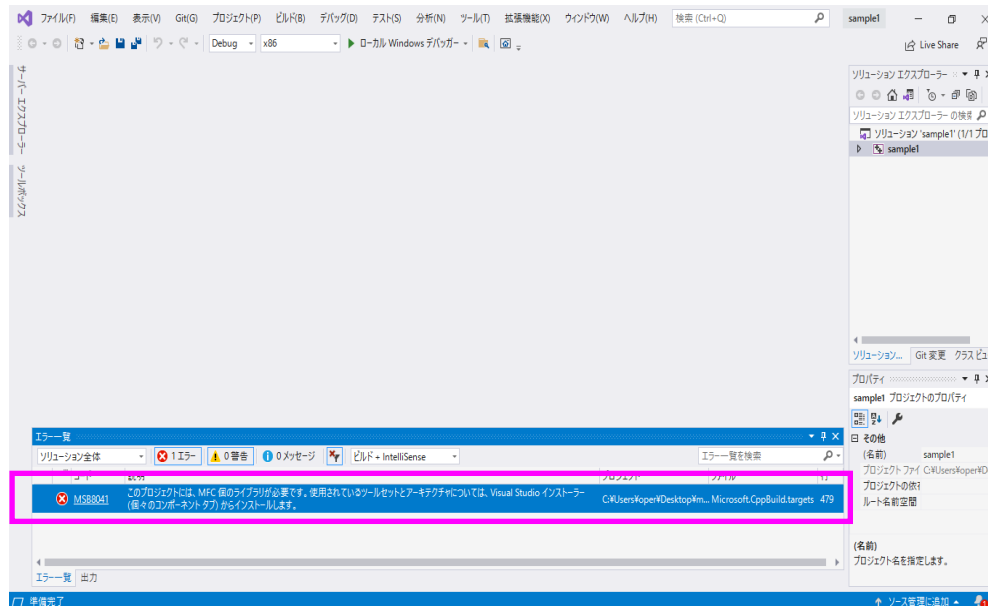
※JV-Link が VisualStudio の背後に隠れてしまいますが、

使用に問題はありませのでそのままお使いください。

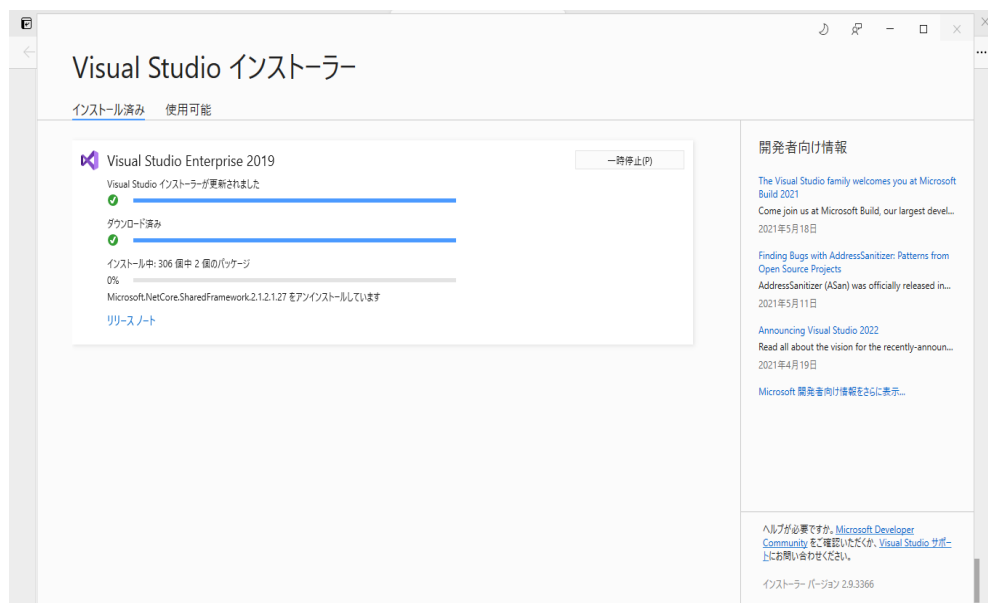


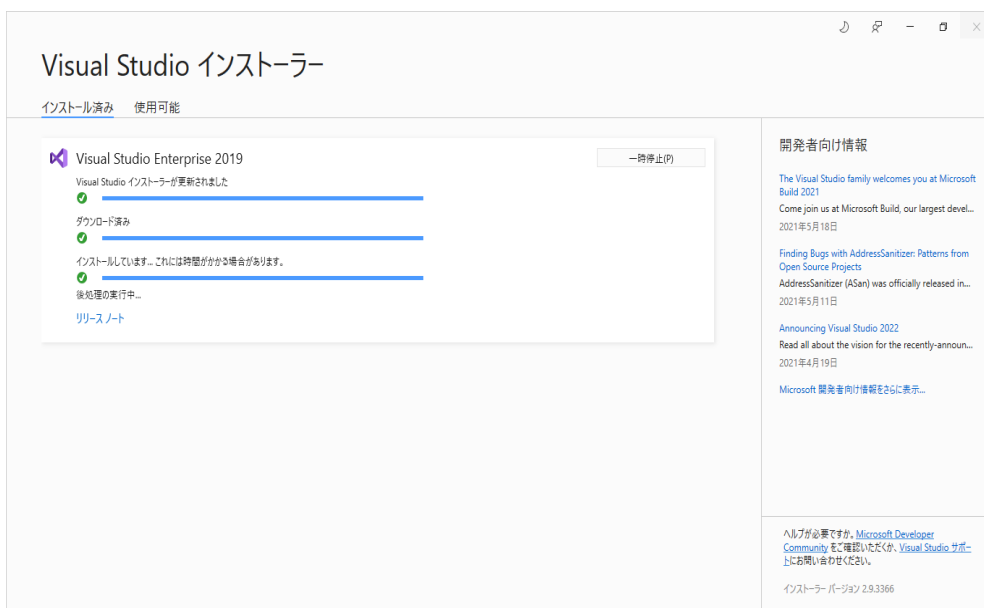
補足説明 1 :

下記のビルドエラーが発生した場合、次の手順を実施してください。

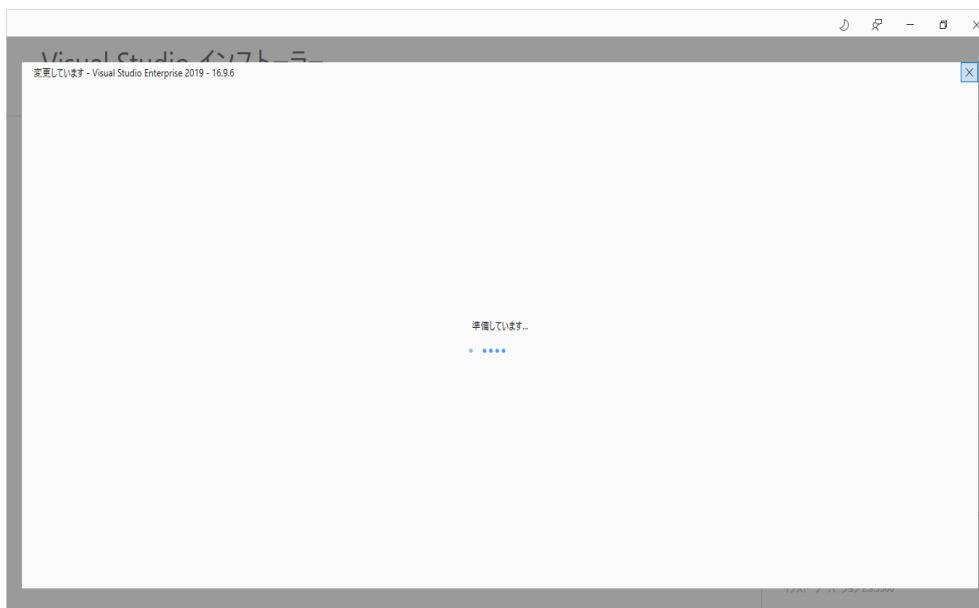
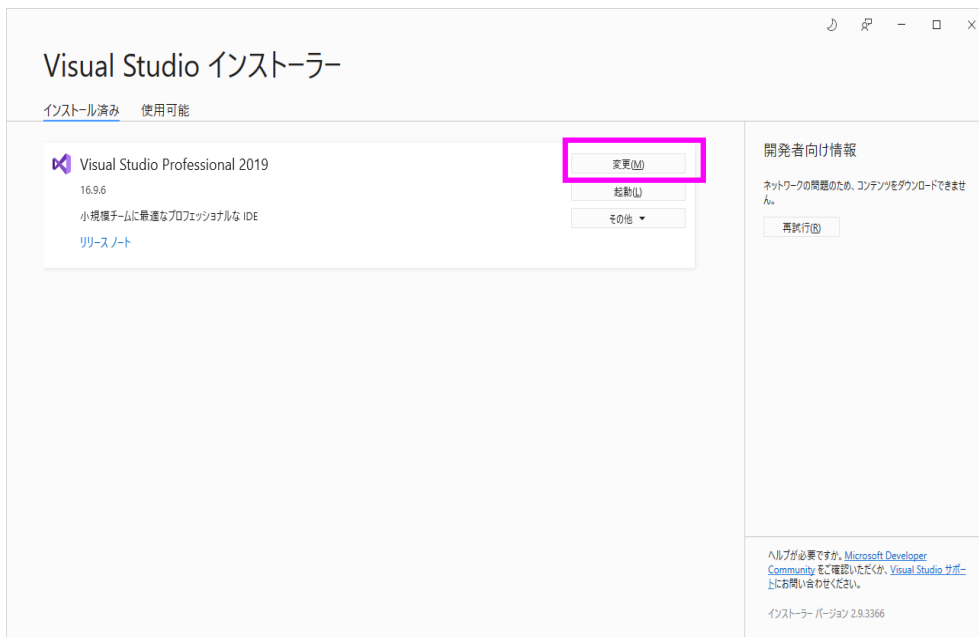


Visual Studio インストーラーを起動し、ダウンロードを完了させてください。

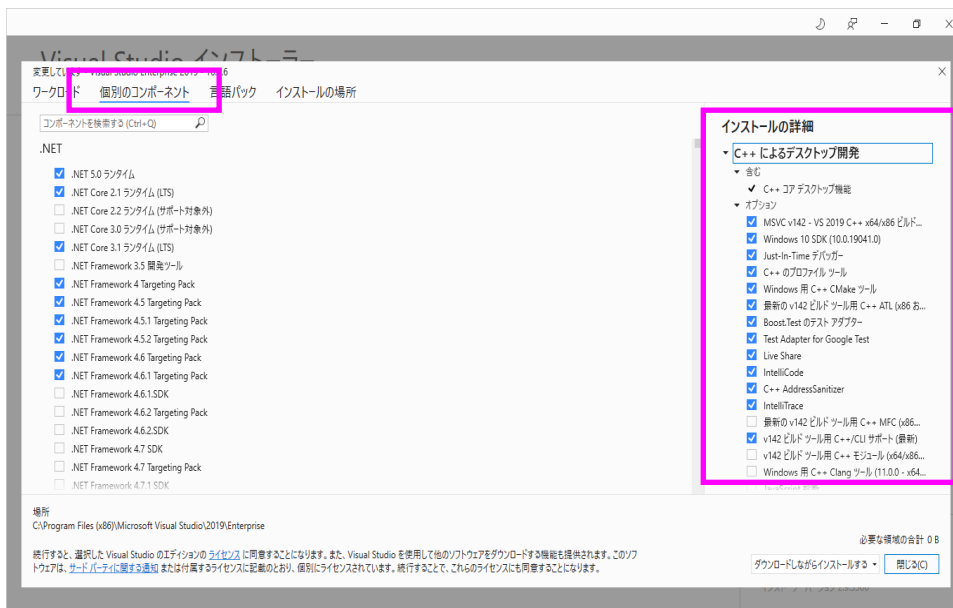




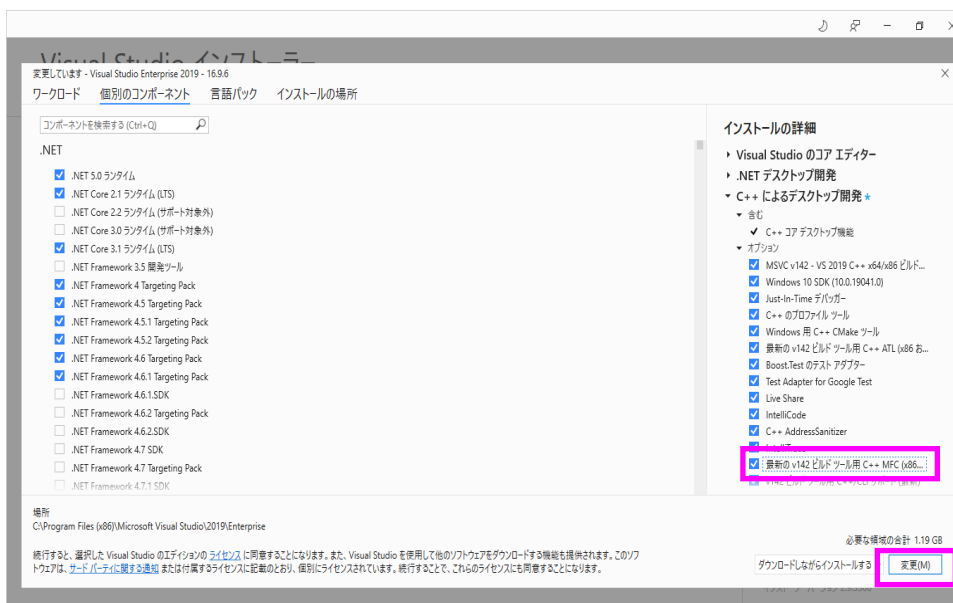
「変更」ボタンをクリックします。

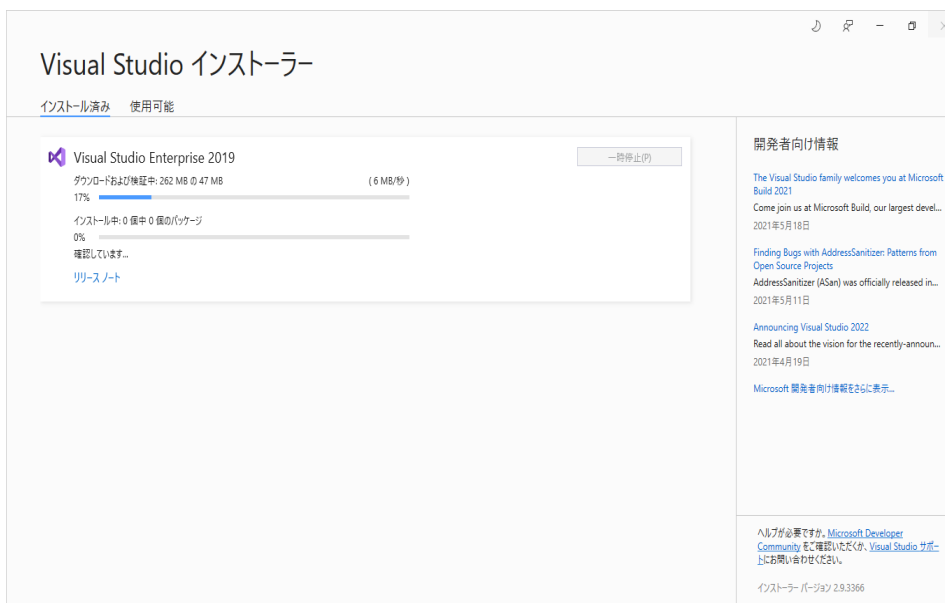
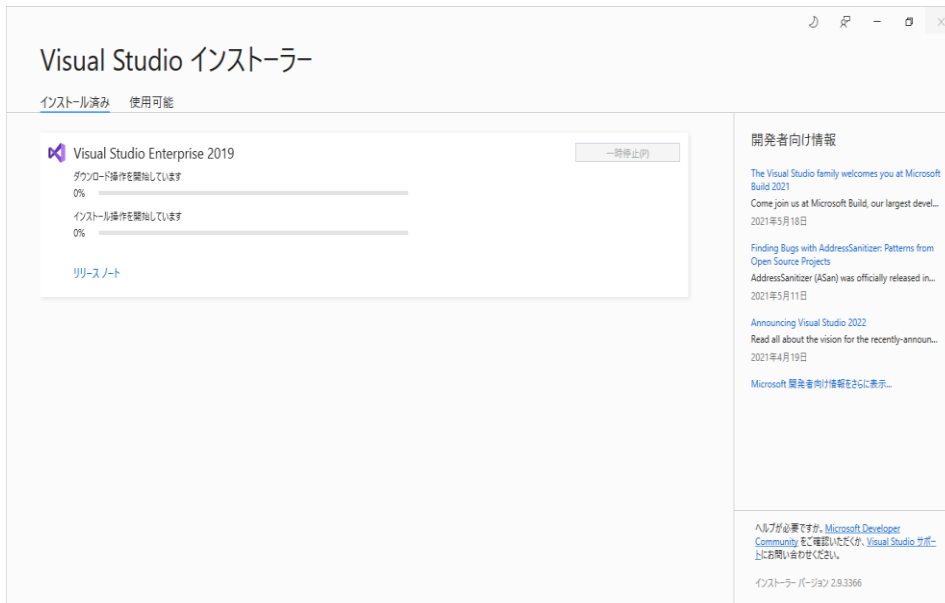


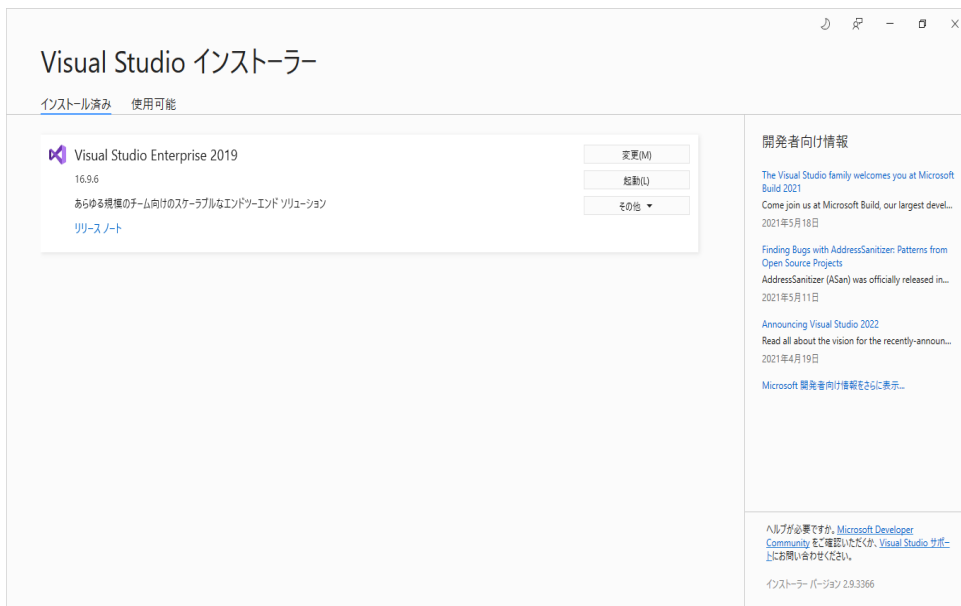
変更画面にて「個別のコンポーネント」タブを選択し、
右側の「C++によるデスクトップ開発」のツリーを展開してください。



「最新の v142 ビルドツール用 C++ MFC(x86 および x64)」の項目にチェックをし、
右下の「変更」ボタンをクリックしてインストールを実行してください。



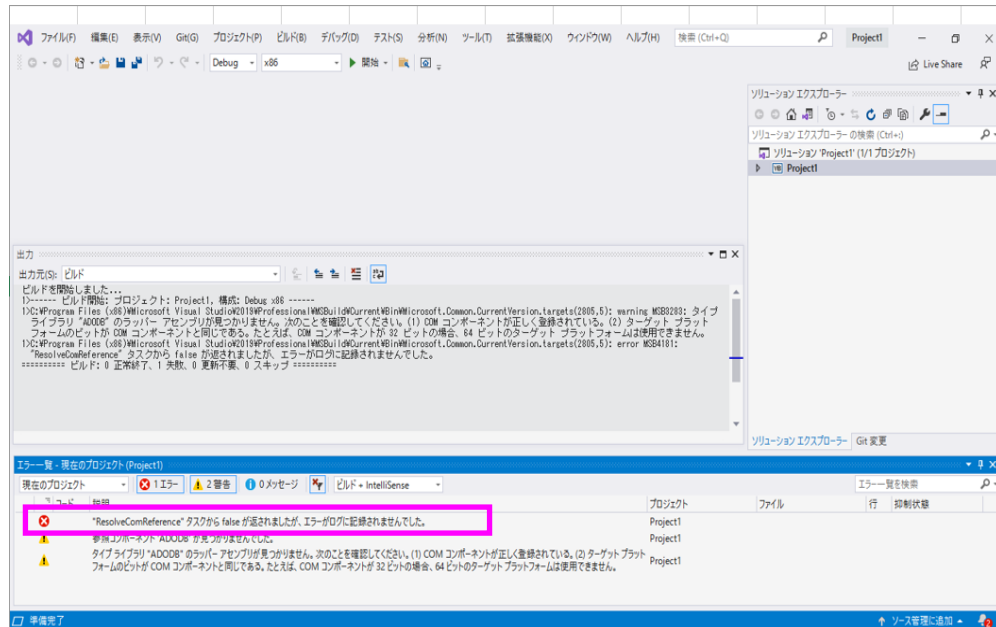




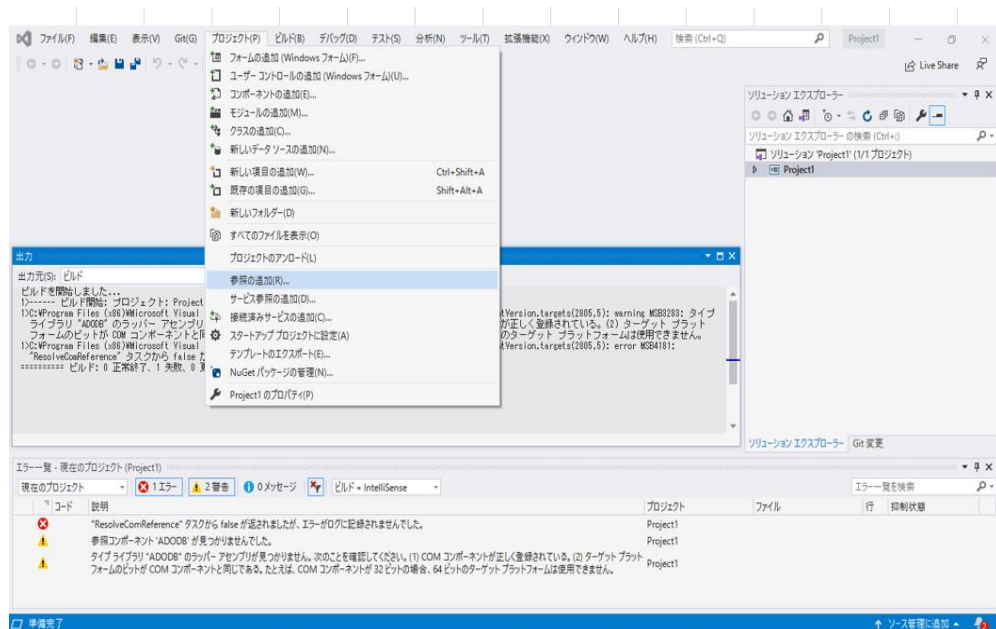
インストール完了後、再度プロジェクトを起動しビルドを再実施し、
問題なくビルドが完了することを確認してください。

補足説明 2:

下記のビルドエラーが発生した場合、次の手順を実施してください。

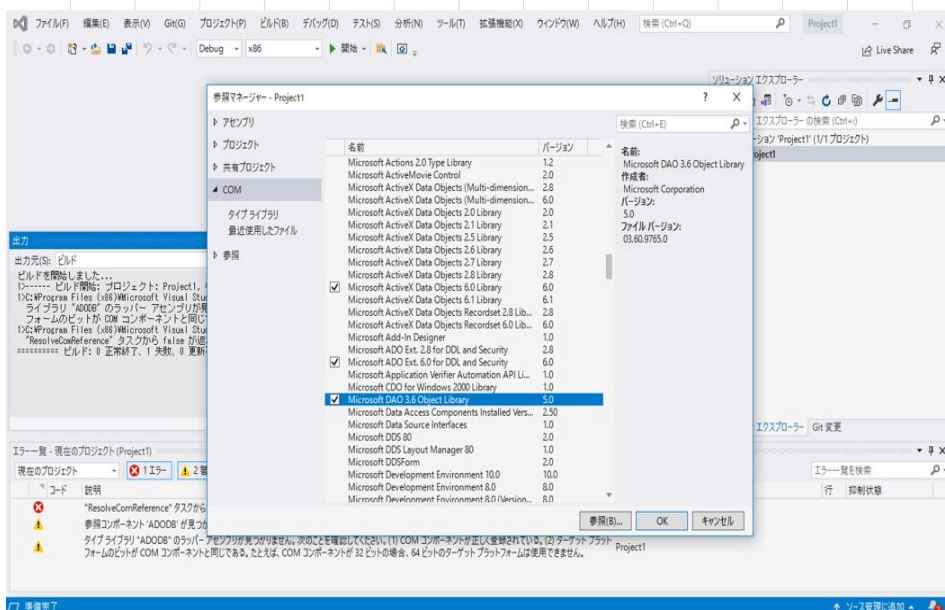
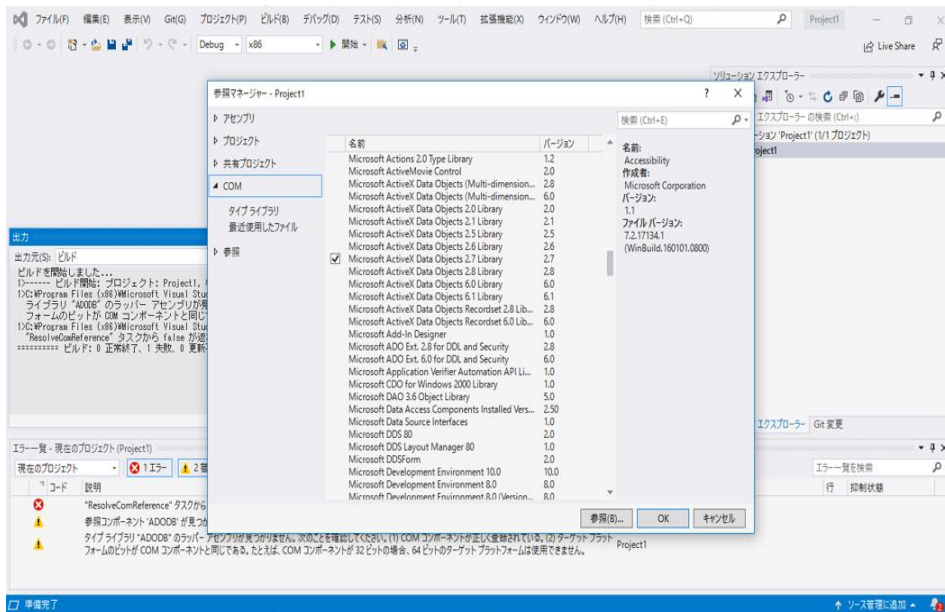


「プロジェクト」の「参照の追加」を選択してください。



Microsoft ActiveX Data Objects 2.7 Library (バージョン 2.7)のチェックを外し
下記 3 つのチェックを入れます。

- Microsoft ActiveX Data Objects 2.7 Library (バージョン 6.0)
- Microsoft ADO Ext. 6.0 for DDL and Security (バージョン 6.0)
- Microsoft DAO 3.6 Object Library (バージョン 5.0)



再度プロジェクトを起動しビルドを再実施し、
問題なくビルドが完了することを確認してください。

